



2022年8月25日

川崎汽船株式会社

川崎近海汽船株式会社

ケイライン・ウインド・サービス株式会社

## 洋上風力建設・保守分野における船舶管理等に関する協業について

この度、川崎汽船株式会社と川崎近海汽船株式会社は合併会社であるケイライン・ウインド・サービス株式会社（社長 久下 豊）（以下、ケイライン・ウインド・サービス）を通じて五洋建設株式会社（社長 清水琢三）（以下、五洋建設）と洋上風力の建設・保守分野における船舶管理等に関する協業について覚書を締結しました。

我が国では、2050年カーボンニュートラル実現のため、再生可能エネルギーの主力として洋上風力発電の供給拡大が期待されており、洋上風力建設の動きが全国で本格化しています。

五洋建設は、国内初の大型クレーンを搭載した SEP 船※「CP-8001」（800t 吊）を 2019 年に就役させたのを皮切りに、鹿島建設・寄神建設と共同で建造中の SEP 船「CP-16001」（1,600t 吊）（2023 年 3 月就役予定）、及びベルギーの DEME Offshore 社との合併会社であるジャパンオフショアマリン株式会社（以下、JOM）が保有予定の SEP 船「Sea Challenger」（1,600t 吊に改造予定）（2025 年春就役予定）と合わせて 3 隻の SEP 船を保有する予定です。また、今後もケーブル敷設船等、洋上風力建設の競争力強化に必要な作業船を拡充する予定です。

ケイライン・ウインド・サービスは、川崎汽船グループが国内外で培ってきたオフショア作業船・支援船事業の豊富な経験を結集し、洋上風力建設・保守分野に貢献すべく、川崎汽船と川崎近海汽船の合併会社として 2021 年 6 月に設立されました。川崎近海汽船と五洋建設は、これまでも SEP 船「CP-8001」の曳船としてオフショア支援船「かいこう」（6,000 馬力）（2021 年竣工）を新造する等、協業関係を築いてきました。



2021 年竣工 オフショア支援船「かいこう」



この度、海洋土木工事ならびに洋上風力建設のトップランナーである五洋建設と、国内外で各種貨物船及びオフショア支援船の運航に関する豊富な経験とノウハウを有する川崎汽船グループのケイライン・ウインド・サービスは、それぞれの得意分野と経営資源を活用して、洋上風力建設・保守に関わる船舶の管理（運航、保守、船員）等に関して協業することになりました。

五洋建設は、子会社である JOM が所有予定の外国船籍 SEP 船の日本船籍への変更等の業務、ならびにその後の運航・保守・船員の管理業務について、ケイライン・ウインド・サービスに委託するとともに、ケイライン・ウインド・サービスが保有するオフショア支援船を活用してまいります。さらに、運転開始後の保守 (O&M) に必要な大型作業支援船 (SOV: Service Operation Vessel) 等の船舶についても、両社で協業を前提に検討してまいります。

※SEP 船：自己昇降式作業台船 (Self-Elevating Platform)、欧州では Offshore Installation Vessel あるいは Wind Turbine Installation Vessel と呼ばれる



2016 年竣工 オフショア支援船「あかつき」